

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

「人と人」「技術と技術」の橋渡しを掲げ、人と技術の中核として、より豊かで快適な未来の暮らしの実現に挑戦

売上高
50,000百万円

営業利益
3,000百万円

営業利益率
6.0%

ROE
10%以上

2 中長期の経営戦略

1. 新設橋梁事業の強化

人材確保と高い工事成績評定点を生かした技術提案力強化により、顧客満足度向上と継続的受注獲得

3. 製品販売事業の領域拡大

工場への経営資源投入と大規模プレキャスト建築製品の営業展開により土木・建築製品需要に対応

2. 補修・補強事業の拡大

高速道路リニューアルプロジェクトへの対応と狭隘工事への挑戦、独自技術（マイクロパイル・K-LIP工法等）の活用

4. 人材確保の推進と育成

大学との共同研究、インターンシップ受入（2024年度約100名）、ベテラン技術者の雇用延長制度

3 対処すべき課題

① 高度な技術人材の確保育成

- ・社会インフラを支える技術人材の喫緊の課題化
- ・2025年度から段階的に新人事制度導入
- ・優秀な人材の獲得・定着・育成を基本方針に設定

② 収益性・資産効率の向上

- ・手持ち工事高増加による施工体制逼迫（技術者不足）
- ・設計変更における新単価協議遅延
- ・労務費・資材価格高騰への対応

③ 働き方改革と業務効率化

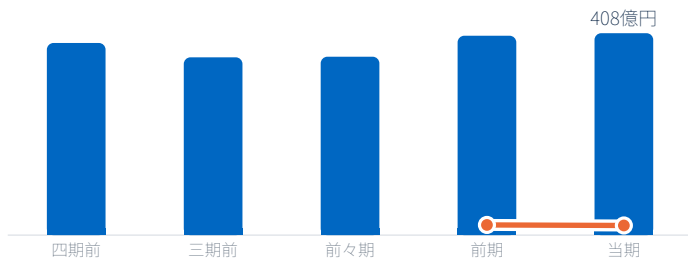
- ・2024年4月時間外労働上限規制対応として段階的フレックスタイム制度導入
- ・DX推進による業務効率化とクラウド型ウェアラブルカメラ導入
- ・現場と本部の連携強化によるサポート体制構築

面接で使えるポイント

- ・経営理念「人と人・技術と技術の橋渡し」を実現する社会インフラ事業で、2027年度売上50,000百万円を目指す
- ・高速道路リニューアルプロジェクトやリニア中央新幹線など大規模インフラプロジェクト対応で成長機会を捉える
- ・2023年極東興和アカデミー開校と2025年メンター制度導入により、次世代技術者の育成に経営資源を投入

証券コード 1726

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
408億円営業利益率
4.8%財務健康度
32点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 51.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
755万円

建設業内 86位/140社

平均年齢
53.5歳

建設業内 2位/140社

平均勤続
9.6年

建設業内 117位/140社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)ビーアールホールディングス【1726】：配当情報

